



キャリアを『つくる』方法
としてのデータサイエンス

神戸大学経営学研究科 原泰史
yasushi.hara@people.kobe-u.ac.jp



キャリアを『つくる』上での前提条件

- みんながデータサイエンティストの資格をとってそれを目指せば、データサイエンティストは必要ではなくなります(完全競争モデル?)
- みんなが使っているBIツールやデータ分析ツールを使えるようになっても、何も比較優位は生み出せません
- みんなが憧れている誰か(ロールモデル)を目指しても、その人には成れないし、新しいことはできません



N=1なわたしのケース

1998-2004 豊田高専

2002-2009 クララオンライン+神戸大学

2006-2015 一橋大学

2015-2018 政策研究大学院大学(GRIPS)

2018-2019 EHESS

2019-2022 一橋大学(again)

2022- 神戸大学(again)



1998-2004 豊田高専



Kabata at Japanese Wikipedia adjusted by User:青子守歌, CC BY-SA 3.0
<<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>>, via Wikimedia Commons
https://www.chukei-news.co.jp/news/2021/08/06/OK0002108060101_01/



2002-2009 クララオンライン



<https://www.iemoto.com/2022/05/25thanniversary/>



2006-2015 一橋大学



2015-2018 GRIPS



2018-2019 EHESS



2019-2022 一橋大学 (again)



2022- 神戸大学 (again)



2022年の現状

- Pythonでのデータ分析手法を解説した本を出版(+2つ執筆中)
- トヨタ自動車で講演や実習を担当
- 豊田市役所でデータ分析実習を担当
- 一橋大や学習院大でデータサイエンスの講義を担当
- その他、ゲスト講義や講演なども



今日のまとめ

- データサイエンスという言葉は2-3年後にはすっかり目新しくなくなります。これまでの言葉と同じように。
- データという種に花を咲かせる方法や技法を学び続けることと、そのためには知識ドメインが必要なのはいつの時代も変わりません。
- 大きなことを言わなくても、目の前の課題を解決するだけでいろいろな景色が見られるので、「小さなことからコツコツと」がオススメです。ほとんどのひとは、文句だけ言って自分では何もしないので。
- 生きる。



THANKS

Twitter: @harayasushi

Facebook: <https://www.facebook.com/yasushi.hara>

E-Mail: yasushi.hara@people.kobe-u.ac.jp

